

カナダ日本語教育振興会 2018 年度年次大会
CAJLE Annual Conference 2018
Conférence annuelle CAJLE 2018

多様性と評価-多様化する社会での評価の意義-

Diversity and assessment: Exploring the significance of assessment in a diversifying
society

Diversité et évaluation : l'importance d'un processus d'évaluation au sein d'une société
diversifiée

於：オンタリオ州ロンドン市ヒューロン大学

Huron University College in Lonon, Ontario

2018 年 8 月 21・22 日

August 21 & 22, 2018

— 協力 / Conference Supporters / Support du colloque —

Consulate-General of Japan in Toronto

The Japan Foundation

Huron University College

Department of Modern Languages and Literatures, Faculty of Arts and Humanities, University of Western Ontario

Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Research, University of Alberta

The Canadian Association of Second Language Teachers

AMINO North America Corporation

Chocolate BARR's Candies

Fukuoka Foreign Language College

IACE Travel

Japan Communications Inc.

Nippon Express Canada

— 書籍販売 / Book Fair / Salon du livre —

Nihongo Circle (OCS Canada)

【基調講演】

学習者の多様性と日本語教育における「評価」—何のために何をもって「評価」するのか—
真嶋潤子先生（大阪大学）

【教師研修I】

宝箱システム—自律学習におけるデジタルバッジの導入—
村上吉文先生（国際交流基金・アルバータ教育省）

【教師研修II】

日本語教育におけるCEFRのインパクトとその深化—初版2001から追加版2017へ—
真嶋潤子先生（大阪大学）

【教師研修Ⅲ】

The CEFR in Ontario: informing classroom practice and enhancing student engagement through self-evaluation methods

オンタリオ州におけるCEFR：自己評価方法を使った教室活動の活性化と学習者の取り組みの強化
Maureen Smith 先生 (Canadian Association of Second Language Teachers)

【口頭発表とラウンドテーブル】

1. 接続助詞的ノヲとノガの接近
天野みどり (大妻女子大学)
2. 接触場面で使用される「かな」と「かね」の分析
藤原美保 (ウィラメット大学)
3. What can we see in mieru and mi-rareru? – The semantic space of visual perception in Japanese-
Ayako Anderson (Columbia University, Graduate School of Arts and Sciences)
4. ARCS 動機づけモデルに基づく拡張現実技術を応用したゲーミフィケーションの評価
米本和弘 (東京医科歯科大学)
5. Are we ready to be friends with Machine Translation?
Takako Aikawa (Massachusetts Institute of Technology)
6. 日本語教育の観点から見たオンライン翻訳サイトの有用性：翻訳の正確さと教育現場での評価における課題について
西寛典 (メンフィス大学)
7. Learner Beliefs Regarding Tandem Learning
Benjamin Larson (Tokyo University of Foreign Studies)
8. 日本語と英語による対面式協働プロジェクト
山口美佳 (ミシガン州立大学)
9. 「先輩」による発音指導が与える効果
金梨花 (ブリティッシュコロンビア大学)
10. カタカナ語とその類義語の使い分け - 日本語学習者と母語話者に対する調査の比較
山下直子 (香川大学), 畑ゆかり (穴吹ビジネスカレッジ)
11. 応答表現「そうです」の使用実態
張希朱 (高麗大学校)
12. ノートの筆記過程をもとに分析する講義の談話の理解
渡辺文生 (山形大学)
13. Native and Non-Native (Near Native) Speaking Teachers: A Meta-Analysis
Yasuyo Yomita (University of Toronto)
14. 日本語学習におけるモバイルアプリの利用と対戦型オンラインゲームの活用
神崎佐智代 (ケベック大学モンリオール校)

15. オンライン教材と大学日本語コース用漢字教材—より効果的な自立学習の促進のために—
矢吹ソウ典子（ヨーク大学），犬塚久美子（ヨーク大学）
16. 現代中国語にあって現代日本語にみられない 字順の逆転する二字漢語について
馬雲（首都大学東京）
17. 台湾におけるホスピタリティー・マネジメント学科の日本語教育の事例研究
程珮涵（東呉大学）
18. クラスを構成する学習者の多様化をどう評価し、どう向き合うか -独学者混在クラスのこれから-
池田雅美（マサチューセッツ工科大学），池田朋子（マギル大学）
19. トレイト別フローチャートを用いたライティング評価：カナダ・アメリカにおける応用
田中真理（名古屋外国語大学），坪根由香里（大阪観光大学），久保田佐由利（イースタンミシガン大学）
20. 辞書を使用した文章理解過程の分析—非漢字圏中級日本語学習者を対象として—
八木真生（東京国際大学），川村よし子（東京国際大学）
21. マンガ文学教材「坊っちゃん」を使った実践についてのインタビュー調査
大槻有佳子（ニューヨーク州立大学バッファロー校）
22. 多面的・多角的評価を取り入れた「声で読む」指導
入野みはる（コロンビア大学）
23. 多読における自己評価アセスメント—自己評価と客観テストの相関関係—
吉村由紀（マサチューセッツ大学アマースト校）
24. 反転授業における予習率と予習の質を高めるための実践報告
橋本拓郎（ハーバード大学）
25. アクティブラーニングにおける評価の方法と意義 —グローバル社会における日本語人材の育成のための「体験型授業」を事例に—
張硯君（大阪大学）
26. 日本企業の職場における学習に必要な日本語コミュニケーション
島田徳子（武蔵野大学）
27. 「生活者としての外国人」のための地域日本語教育に関する研究 —ゼロ初級者に向けた学習プログラム開発の一提案—
陳帥（九州大学）
28. 新しい日本語音声指導法「ボイスサンプルプロジェクト」の教材化とその評価
王伸子（専修大学），シャープ昭子（カルガリー大学），善積祐希子（トロント大学），竹井尚子（サイモンフレイザー大学）
29. 国際共修授業のアセスメント—担当教員のビリーフと授業設計—
北出慶子（立命館大学）
30. 国際共修カリキュラム（相手言語接触場面）における母語話者の意識と役割
竹井光子（広島修道大学），吉田悦子（三重大学）

31. タイ語母語話者による「味を表す表現」
武藤彩加（広島市立大学国際学部）
32. Decoding positive flavors: An analysis of emotive adjectives and related expressions in gastronomic discourse
Sayaka Abe (Middlebury College)
33. 日本語と韓国語とロシア語の「好まれる言い回し」—人為的事態の結果状態を示す表現を比較して—
副島健作(東北大学)
34. Japanese mothers' soliloquy in family interaction discourse
Kiyono Fujinaga (The State University of New York at Buffalo)
35. 課題解決型会話におけるスピーチスタイルシフト—日本語母語話者と日本語学習者の比較—
下條光明（ニューヨーク州立バッファロー大学）
36. JFL 学習者と JSL 学習者の会話比較と中級要件の考察
角南陽一（フレイザーバレー大学）
37. 成人初級「継承語学習者」の自己評価と位置づけ—カナダの大学の初級日本語コースで学ぶ学習者の事例から—
脊尾泰子（マギル大学）
38. 学際的アプローチを用いた CBI による中級日本語カリキュラムデザインを試み —多元的観点からのクリティカル・リテラシーを育てるために
ロチャータ恭子（コロンビア大学）
39. Retention of Learners in Beginning Japanese Language Classes: Crisis or Opportunity?
Nina Langton (University of British Columbia Okanagan)

【ポスター発表】

1. 第一回ジャパンボウルオンタリオの実施報告と今後の課題
赤井佐和子（ヒューロン大学），河井道也（ヒューロン大学），白川理恵（ヒューロン大学）
2. 文脈から考える副詞「全然」の意味機能
有森丈太郎（トロント大学）
3. ルーブリックを用いたピア・レスポンス活動
福岡寿美子（流通科学大学）
4. 映像付きコーパスの日本語教育における応用
葛金龍（南京航空航天大学）
5. あるフィリピン人日本語教師の漢字指導に関する意識—理想と現実—
濱川祐紀代（目白大学）
6. 意見陳述における緩和表現—質問の種類別にみた日本語母語話者と中国語を母語とする日本語学習者の傾向—

半沢千絵美（横浜国立大学）

7. 学習者の多様性の評価とボランティアの学びへの影響
平野莉江子（立命館大学大学院）
8. 日本語教育における教師の意思決定の過程と自己評価
印道緑（北九州市立大学）
9. プロジェクト型学習における協働とつながり： デジタルストーリーテリングを用いたビデオ作成プロジェクト実践報告
川瀬佐恵（ペンシルバニア大学）
10. 非日本語圏の日本語学習者のための短期留学： 大学間で設立する夏季プログラム
加山裕子（マニトバ大学）， 高橋亜紀子（宮城教育大学）
11. How Do Japanese-English Bilinguals Process Word Meanings of Translation Equivalent Words?
Eriko Matsuki (Western University)
12. ボランティア言語活動と学習活動をつなぐにはどのような教育的指導が必要か—学生による学校文書の翻訳活動の実践を事例として—
松永典子（九州大学大学院）
13. ホームステイと日本語学習効果に関する考察—大阪大学の日本語集中プログラム J-ShIP 参加学生を中心に—
中野遼子（大阪大学国際教育交流センター）
14. カナダ在住の子育て世代の日本人が持つわらべ唄の印象
西脇二葉（東京福祉大学）， 長田瑞恵（十文字学園女子大学）
15. ドラマティックコミュニティ@城崎-インターカルチュラル日本語フィールドスクール
野呂博子（ビクトリア大学）
16. ビジネス日本語能力テストの出題傾向と対策の探求
尾崎学（開南大学）
17. 「日系人のハイブリッド性」をテーマにした授業実践
徳井厚子（信州大学）
18. Effects of Onset Age of Acquisition and Environment on Language Processing and Cognitive control
Santa Vinerte (University of Ottawa), Yoriko Aizu (University of Ottawa), Laura Sabourin (University of Ottawa)
19. 談話レベルから見た日本語における無生物主語他動詞文について
山田勇人（京都外国語大学）
20. 一地方都市における継承日本語教室の実践
吉澤明子（モンクトン日本語センター）